

令和6年度 水防演習

《演習テーマ》

洪水から守ろうみんなの地域

概 要 報 告

実施日:令和6年5月26日(日)

場 所:小田原市寿町五丁目地先 酒匂川スポーツ広場
(小田原大橋上流)

主 催

神奈川県・小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町

『令和6年度 水防演習』概要報告

令和6年5月26日（日）、小田原市寿町五丁目地先（酒匂川スポーツ広場）において、神奈川県、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の主催により、「令和6年度 水防演習」を開催しました。

演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、消防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上及び水防意識の高揚を図るとともに、県民の水防や避難に対する理解を深め、広く協力を求めることを目的として開催したものです。

演習テーマ 「洪水から守ろうみんなの地域」

- 演習重点
- ★ 有効な水防技術の習得及び次世代への継承
 - ★ 洪水時における関係機関の有機的な連携
 - ★ 県民の水防や避難に対する理解と積極的な参加
 - ★ 河川の増水に伴い取り残された孤立者の救助
 - ★ タイムラインに基づく防災行動

当日は、全20機関 約620名が演習に参加するとともに、招待者、一般見学者を合わせると総勢約1,300名となりました。

1 開会式



主催者あいさつ（県知事）



主催者あいさつ（4市町代表：小田原市長）



来賓あいさつ（県議会議長）



訓示（県・県土整備局長）



演習開始宣言（県・小田原土木センター所長）



左から真鶴町長、小田原市長、県知事、湯河原町長、箱根町長

2 初期水防活動

台風の接近に伴う大雨により、酒匂川が増水したとの想定のもと、初期水防活動としてダム放流警報発令及び堰放流に伴う警報車による警報訓練を実施しました。

三保ダム警報車による警報



広域水道企業団警報車による警報



消防団出動（水防警報発令）



災害復旧工作隊出動



資材搬入



3 水防工法演習

小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町、開成町の消防団や、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合、陸上自衛隊が各種の水防工法の演習を行いました。

<準備工（土のう拵え工）>



<準備工（杭拵え工、大型土のう拵え工）>



<洗掘防止工法（木流し工、シート張り工、T型マット張り工）>



<漏水防止工法（釜段工）>



<崩壊防止工法（杭打ち積み土のう工）>



<決壊防止工法（根固めブロック工）>



<越水防止工法（積み土のう工、鋼板積み土のう工）>



<越水防止工法（水マット工、大型土のう積み工）>



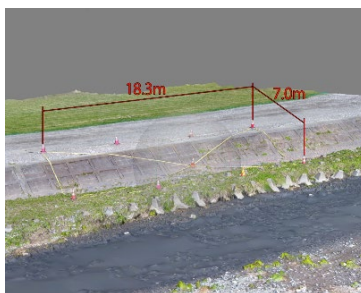
4 広域情報収集訓練（ドローン活用）

酒匂川の堤防の被災状況を確認するため、ドローンによる3次元測量を実施し、変状の把握及び崩壊規模の特定を行いました。また、県のドローン空撮隊による飛行デモンストレーションを実施しました。

<ドローンによる撮影>



<崩壊規模の特定>



<ドローン空撮隊>



5 広域情報収集訓練（巡視車・ヘリコプター（想定））

酒匂川の堤防被害が広域的に発生する恐れがあるものと、小田原土木センターの巡視車、及び神奈川県警察航空隊のヘリコプター（想定）による流域の情報収集訓練を実施しました。

<巡視車ででの情報収集>



6 避難支援訓練

酒匂川が氾濫危険水位を超過したとの想定で、神奈川県から小田原市へのホットラインによる河川状況の伝達や、小田原市による避難指示発令等の避難支援訓練を実施しました。

7 水防工法視察

各市町の消防団等が実施した水防工法について、総本部役員が視察確認を行いました。



8 救出救助訓練

小田原市消防本部、神奈川県警察及び陸上自衛隊が連携し、河川の増水で中州に取り残された要救助者や、がけ崩れにより埋没した車両の要救助者を想定した、救出救助訓練を実施しました。

<救出救助訓練の開始>

開始宣言



<ボートによる中州からの救助>

救命索発射銃によるロープ展張



ボート救助（消防）



ボート救助（陸上自衛隊）



<応急救護所、現場指揮所及び現地合同調整所の設置>

応急救護所（エアテント）設置
（消防）



現場指揮所設置
（消防）



現地合同調整所設置
（消防・陸上自衛隊・県警）



＜ヘリコプター（県警 たんざわ）による中州に取り残された要救助者 ホイスト救助＞



＜埋没車両の救助、救助者搬送＞
出動（県警）



重機（陸上自衛隊）による土砂撤去



車両解体（県警）

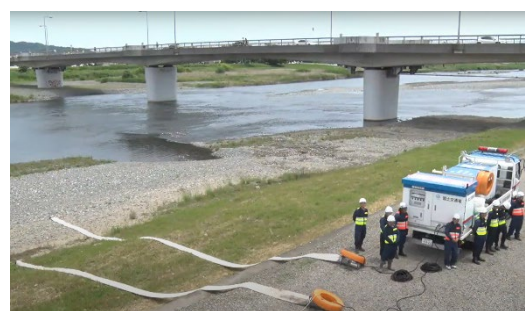


救出～搬送（県警・陸上自衛隊・消防）



9 排水ポンプ車出動要請訓練

小田原市が国土交通省京浜河川事務所の排水ポンプ車を要請し、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合の協力のもと、排水ポンプ車による排水準備を行う訓練を実施しました。



10 ライフライン復旧訓練

台風による被害で避難所が停電し、更に電話が不通になったことを想定して、東京電力パワーグリッド(株)、東日本電信電話(株)及び(株)ドコモCSがライフラインの復旧訓練を実施し、副知事が真鶴町長や湯河原町副町長と通話確認を行いました。

<各企業の復旧活動（各隊出動）>



<各企業の復旧活動（各隊復旧作業状況）>



<通話確認（左から副知事、真鶴町長、湯河原町副町長）>



11 炊き出し訓練

陸上自衛隊の炊事車により、カレーライス600食の炊出しを行い、一般見学者に配食を行いました。



12 展示・体験コーナー

国土交通省、総務省、陸上自衛隊、神奈川県警察、神奈川県内広域水道企業団、三保ダム管理事務所、東京電力パワーグリッド(株)、東日本電信電話(株)、神奈川エフエムネットワーク、小田原市及び神奈川県が防災等に関連する車両や資機材、パネル等を展示し、水防や避難に対する普及啓発を図りました。

国土交通省京浜河川事務所
(降雨体験車展示他)



総務省関東総合通信局
(パネル展示他)



陸上自衛隊
(自走架柱橋展示他)



神奈川県警察
(高性能救助車展示他)



神奈川県内広域水道企業団
(パネル展示他)



三保ダム管理事務所
(パネル展示他)



東京電力パワーグリッド(株)
(電気自動車からの給電展示他)



東日本電信電話(株)
(災害対策車両展示他)



神奈川エフエムネットワーク
(臨時災害放送局開設)



小田原市 (水上オートバイ、ハザードマップ、四つ枠工展示)



神奈川県 (遠隔操作油圧ショベル、バイオトイレ、パネル展示)



13 水防活動終了報告～閉会式

消防団による水防活動終了報告を行うとともに、閉会式を執り行いました。

水防活動終了報告（消防団）



閉会式



演習終了報告（県・小田原土木センター所長）

講評（箱根町長）



- 今回の演習では、水マット工などの新たな水防工法やドローンによる3次元測量の実演とともに、遠隔操作油圧ショベルやバイオトイレの展示など、新たな取組を積極的に採用しました。また、演習の様子を多くの県民の方々に見ていただけるようライブ配信（視聴回数 約 500 回）を行いました。
- 酒匂川では、令和元年東日本台風時に氾濫注意水位を超えた実績もあるため、水防演習を通じて、県、市町が一体となった水防体制の整備・強化が図られるなど、大変意義のある演習となりました。
- 演習の実施にあたっては、消防団及び関係機関の皆様へ、日頃の訓練の成果を十分に発揮していただきました。今後とも、技術の研鑽や訓練を積み重ね、水害発生時には力を発揮していただきたいと考えています。
- 最後に、御尽力いただいた関係機関の皆様へ厚くお礼申し上げます。

『令和6年度 水防演習』に参加いただいた関係機関

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所、気象庁横浜地方气象台、総務省関東総合通信局、陸上自衛隊（東部方面混成団、第4施設群、第1高射特科大隊、神奈川地方協力本部）、神奈川県警察（警備課航空隊、危機管理対策課、第二機動隊広域緊急援助隊特別救助班、小田原警察署）、関東管区警察局（機動通信課）、小田原市消防団、箱根町消防団、真鶴町消防団、湯河原町消防団、開成町消防団、神奈川県内広域水道企業団、東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川事業部、(株)ドコモCS神奈川支店、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合、神奈川エフエムネットワーク